（５）危機管理

静岡県東部・伊豆地域の自治体・関係機関との連携等や各種訓練等を実施し、災害発生の防止、被害の軽減を図ります。

◆ 各種会議、訓練等の実施　　－ 自治体、関係機関との連携 －

洪水氾濫や土砂災害等による被害を軽減するために、地域の自治体、関係機関と連携を図るための連絡会議、また、出水等発生時に迅速に対応できるよう、各種訓練や重要水防箇所合同巡視等を実施しています。

令和6年度　水防連絡会
【 R6年 5月 】

令和6年度　重要水防箇所合同巡視
【 R6年 5月 】

◆ 観測体制の構築　　－ 直轄管理区間内に気象観測網を整備 －

近年の集中豪雨や自然災害に備えるため、管内にリアルタイムな降雨状況を把握できるXバンドレーダーや、雨量観測所20箇所及び、河川水位観測所15箇所を設置しています。また、降雨状況や水位状況及び、CCTVカメラ54箇所により、河川・海岸の状況把握を常時実施しています。収集したデータより、水防団や一般住民に対して水防警報・洪水予報をはじめとする各種予警報及び、海岸水防警報を発令し迅速な情報提供を行っています。

なお、インターネットを通じ、雨量・水位情報の提供を行っています。

本宿水位・流量観測所(黄瀬川)

R3．7．3　９：10時頃の映像（R3.前線による大雨）CCTVカメラにより撮影

この日は、黄瀬川上流の愛鷹雨量観測所にて、累計808mmの雨が降り、本宿地点の時刻水位は、5.37mと戦後2番目の水位を記録しました。

◆ 災害対策車両の配備　　－ 来る災害に備えて所内に車両を配備 －

災害対策車両を当事務所に配備し、災害時の迅速な対応を図ります。また、自治体からの要請により、災害対策車両を派遣し支援を行います。

近年の排水ポンプ車稼動実績
（R1：令和元年東日本台風（三島市御園地区））

近年の排水ポンプ車稼動実績
（H29：台風21号（函南町新田地区））

◆ 災害時の広域支援　　－ 国土交通省のネットワークを生かした広域支援 －

○ 現地情報連絡員(リエゾン)の派遣

現地情報連絡員（通称：リエゾン）
－フランス語で「組織間の連絡、連携」の意味－

災害時に圏域の自治体との連携を密接に図るため、圏域の１８自治体とリエゾン派遣に関する協定を締結し、災害が発生又は発生するおそれのある場合には直ちにリエゾンを派遣し、情報収集や支援ニーズの把握を行います。

○ TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の派遣

大規模自然災害の発生または、発生する恐れがある場合に、被災した自治体等に対して、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び、拡大防止、被災地の早期復旧等、また、その他の災害応急対策に対する技術的な支援を行います。

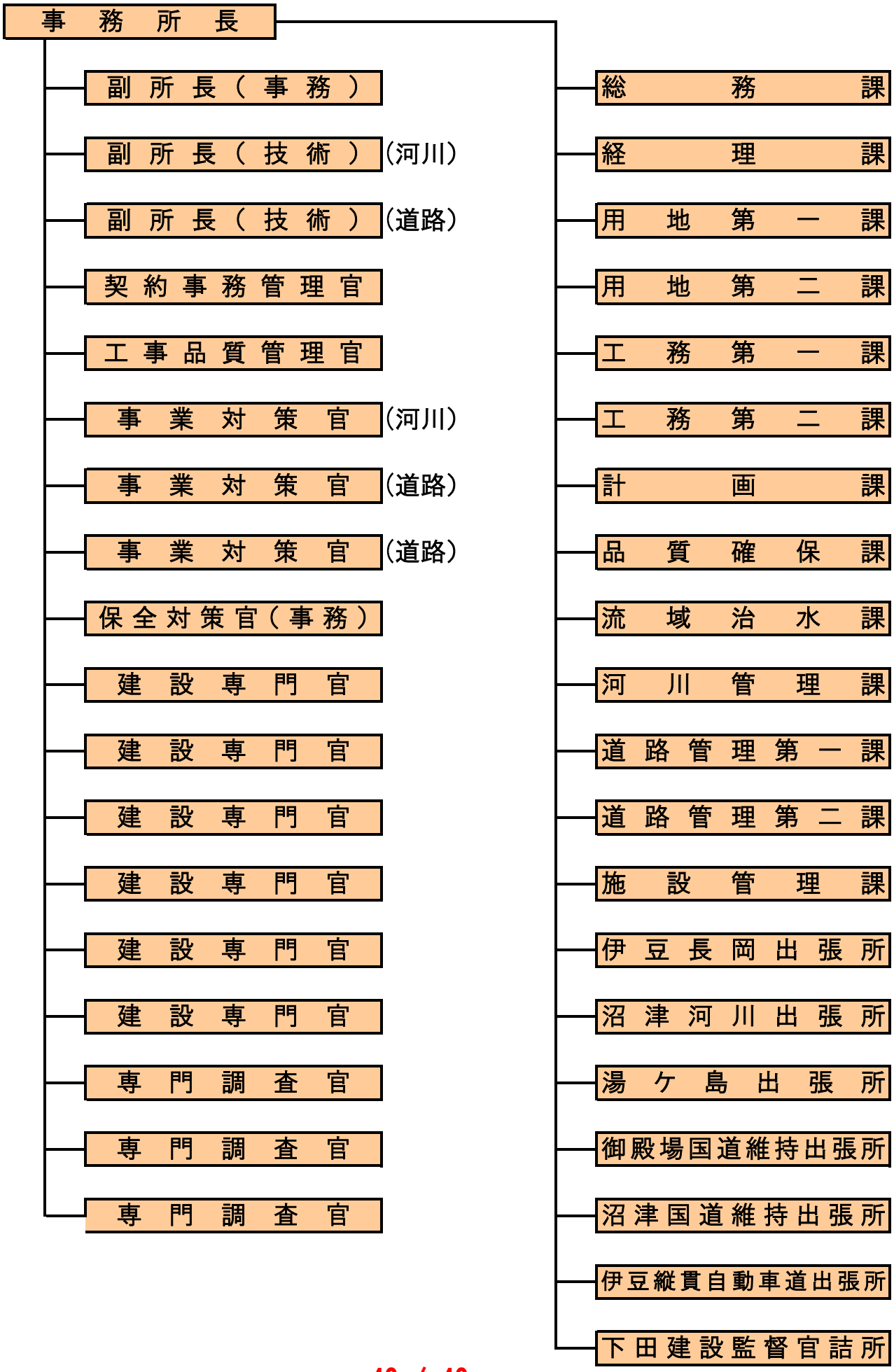
【 参考 】令和7年度の事業費内訳

（単位：百万円）

	事業内容	区分 / 費目	狩野川	狩野川砂防	富士海岸	令和7年度事業費計	前年度当初	前年度補正等
治水関係事業	河川関係	一般河川改修	1,184			1,184	1,168	745
		総合水系環境整備事業	67			67	42	0
		河川維持修繕	783			783	766	499
		河川工作物関連応急対策事業	130			130	130	0
	砂防関係	砂防事業		792		792	832	384
	海岸関係	海岸保全施設整備事業			－	0	705	－
	小計		2,164	792	0	2,956	3,643	1,628

	事業内訳	区分 / 費目	路線名 1号	138号	246号	414号	令和7年度事業費計	前年度当初	前年度補正等
道路関係事業	改築関係	伊豆縦貫自動車道	10	0	0	5,142	5,152	3,263	950
		一般道路	650	10	163	0	823	709	100
		計	660	10	163	5,142	5,975	3,972	1,050
	交通安全	交通安全	752				752	734	130
		計	752				752	734	130
	電線共同溝	電線共同溝	52				52	81	0
	小計						6,779	4,787	1,180
合計							9,735	8,430	2,808

※　上記金額は、「 河川 及び 道路整備勘定 」のみである。
※　道路関係事業の路線別は、「 改築関係 」のみを記載している。
※　上記金額は、「 百万円 」単位で整理しているため、合計金額が合わない場合がある。

沼津河川国道事務所の組織

令和７年　４月　１日 現在